



梅雨、台風の時期がやってきます



台風への備えは万全ですか？

沖縄には毎年多くの台風が襲来します。台風シーズンを乗り切るために、早めの台風対策をしましょう！普段から備えておくことで、被害を未然に防いだり、軽減したりすることができます。

【ご家庭】

- 災害に備える→台風等の災害情報はこまめにチェック
- 停電に備える→懐中電灯やラジオ、電池などの準備
- 断水に備える→飲料水などの確保
- 浸水に備える→家財道具や生活用品は高い場所へ
- 避難に備える→避難時に必要な「非常持出品」の確認

【屋根・看板】

- ・ひび割れやズレはないか。
- ・トタンはめくれや剥がれがはたしてないか。
- ・瓦食などで壊れやすくなっていないか。

【戸・窓ガラス】

- ・ガタツキや緩みはないか。
- ・窓の補強はされているか。

【ベランダ】

- ・物干し竿など飛散する可能性があるものはないか。

【庭・塀など】

- ・鉢植えなど飛散しやすいものはないか。
- ・塀などに破損や腐食はないか。
- ・敷地や周辺の草刈・清掃などで排水のつまりを軽減（浸水対策）

【外壁など】

- ・亀裂や腐食はないか。
- ・固定が必要なものはないか。



土砂災害に警戒を！

これからの梅雨期、台風時など、大雨が降る時期や地震が起きたときには、地盤がゆるみ、土石流やがけ崩れ、地すべり等の土砂災害を引き起こす可能性があります。

土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめ避難しましょう。



西原町地域防災計画について

西原町地域防災計画とは

国、沖縄県、西原町、防災関係機関、町民、事業所などが、防災対策を総合的かつ計画的に進めることで、災害に強いまちにすることを目的としています。

防災計画（概要版）を配布します

令和6年3月に西原町地域防災計画の見直しを行いました。町民のみなさんに広く知ってもらうため町地域防災計画の概要版を各ご家庭に配布します。6月に配布する予定ですので届きましたらご確認ください。

西原町避難誘導マップ

災害時の指定緊急避難場所についての詳細は避難誘導マップをご確認ください。



災害発生時のとるべき行動とは

■災害の警戒レベルと住民がとるべき行動

レベル	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保 町
.....<警戒レベル4までに必ず避難！>.....		
4	危険な場所から全員避難	避難指示 町
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難 町
2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 気
1	災害への心構えを高める	早期注意情報 気

気：気象庁が発表する情報 **町**：西原町が発表する情報

沖縄防災情報ポータル ハイサイ！防災で一びる

沖縄防災情報ポータルでは、県内の災害情報を市町村別に掲載しています。

災害に関連する情報の収集に役立つため事前に防災メールの登録をしておきましょう。

【スマホ用】 【ガラケー用】



小波津川の監視カメラはコチラ



防災 命を守る備えを

津波が起きたらどうしたらいい？

「原則徒歩」で「遠く高くへ」

できるだけ早く沿岸部から遠く、高いところへ避難することが大切です。車での移動は交通渋滞を引き起こし、高齢者や配慮が必要な方の避難の遅れにつながります。そのため原則徒歩での避難を心がけましょう。



津波の心得5か条

- 1 地震が起きたらまず避難
- 2 津波は繰り返し来襲します
- 3 情報を待っていては逃げ遅れます
- 4 家族で話し合っておきましょう
- 5 津波は引き潮から始まるとは限りません



自治会の掲示板で海拔の高さが確認できます 各地域の自治会に設置している掲示板には海拔の高さ、最寄りの避難所などが表示されています。今一度ご自身の地域の海拔の高さや避難所をご確認ください。

この地域の避難所
西原小学校
(ここから1,234m)

津波時の避難場所
西原運動公園
(海拔38m, ここから1,234m)
坂田小学校
(海拔70m, ここから1,234m)

自治会が定める避難所・避難場所
小波津自治会事務所

津波 Tsunami 25m
海拔表示
Sea Level

津波時は高台へ避難

避難所に行くことだけが避難ではありません。「避難」とは、「難」を「避」けることです。

指定避難所への『立ち退き避難』

安全な親戚・知人宅への『立ち退き避難』

屋内安全確保『垂直避難』



中央公民館の屋上で避難している様子

